

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	728	農林業公社及び生産組合支援事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	04	農業生産対策費
担当部課名	大山田支所産業建設課		細目	101	生産調整推進対策事業
作成者氏名	廣田 稔	連絡先	細々目	04	農林業公社及び生産組合支援事業
		47-1157			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	農地の利用調整を主な業務とする農林業公社及び集落営農を推進する大山田農事生産組合協議会に対し、運営及び活動助成を図る	農地保有化事業の推進 担い手農家に農地の集積され、農業の経営安定及び農地の流動化が促進される					
本年度事業内容	大山田農事生産組合協議会 150,000円 大山田農林業公社会費 4,000,000円 大山田農林業公社運営助成金 1,800,000円						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	6,200	5,950	6,625
	委託料			700
	補助金	6,200	5,950	5,925
	その他			
合計(A+B)		6,920	6,670	7,345
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源		6,920	6,670	7,345
上記①～③に関する特記事項				
大山田農林業公社へ職員1名派遣				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
農地保全管理	ha	669	700	750			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
農地流動化率	分母に管内農地面積、分子に利用権設定面積を指標設定とする	%	3.1 目標 (3)	4	4
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

社団法人大山田農林業公社は大山田地域における農地保有合理化事業を実施(伊賀市の他地域はJA伊賀北部担当)し、農地の荒廃化を防ぎ地域環境保全に寄与しており助成金の減額は今後とも出来ない。
 なお、平成19年度からは、本来行政が行わなければならない、業務を農林業公社が実施しており、その業務に対応する対価を支払うものといいたい。なお、大山田農事生産組合については活動内容の見直しが必要

評価	必要性	4	拡大・一部縮小 農林業公社は上記理由により拡大の必要があるが、農事生産組合については見直しの必要がある	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A